

《第1回 高度医療・人材育成拠点 基本計画策定会議》議事録

- 1 日時 令和5年1月27日（金）17:00～18:00
- 2 場所 Web（Zoom）
- 3 参加者 出席者名簿のとおり
- 4 内容

開会・挨拶

木下委員長：本日は本会議に御出席いただき、感謝申し上げます。

本会議は、本県が昨年11月に策定した「高度医療・人材育成拠点 基本構想」において、「一体となって新病院を構築することを検討」する医療機関として示した県立広島病院、JR 広島病院、中電病院の関係者の皆様によって、新病院の実現に向けた基本計画の策定を目的として設置したものである。

全国トップレベルの医療を実践し、若手を中心とする優秀な医療スタッフを惹きつける1,000床規模の新病院を実現するためには、様々な課題があると認識しているが、各医療機関において長年にわたり広島県の医療を支え続けてこられた皆様の御知見、御協力をいただきながら、構想の具体化を図っていきたいと考えている。

本県としても、新たな病院の整備に向けて、皆様と共に全力を尽くしてまいりたいと考えている。

第1回となる本日は、本会議の検討体制等について説明すると共に、基本計画の全体像となる計画の柱建てについても、現時点での案をお示ししたいと考えている。

また、これから新たな病院を作り上げていく上での根幹となる新病院の基本理念、基本方針等についても皆様方から御意見をいただき、いただいたご意見をこれから策定する基本計画に反映させていきたいと考えている。

限られた時間ではあるが、忌憚のない御意見を頂戴できれば幸いである。

協議事項

（主な意見）

【新病院の基本理念及び主な機能について】

- 基本理念については、職員が復唱できる程度にコンパクトにしつつ、信頼や安全という言葉盛り込んだ方がよいのではないかと。
- 単に3病院を一つにするのではなく、新病院は全ての県民のために、大学と連携して中山間地域を含めた将来の地域医療を守る使命があることを、関係者はしっかりと理解する必要がある。
- 新病院の主な機能として、政策医療や人材育成機能だけでなく、先進医療と臨床研究についても盛り込む必要がある。

- がんや小児・周産期医療において扱われているゲノム医療について、新病院の主な機能として追加を検討してはどうか。

【新病院の病床数について】

- 将来的な需要を踏まえた病床数だが、開院までの間での需要の変化に対応できる柔軟性を持たしつつ議論していくべきである。
- 急性期の病床が想定されているが、慢性期患者への対応や再編対象病院が持っている急性期以外の病床をどうしていくか考える必要がある。

以上

高度医療・人材育成拠点 基本計画策定会議 委員名簿

委員 (◎委員長)

氏 名	所 属	出 欠
板本 敏行	県立広島病院 病院長	出席 (WEB)
品川 恵己	県立広島病院 看護部長	出席 (WEB)
栗根 庸行	県立広島病院 事務局長	出席 (WEB)
河本 昌志	JR 広島病院 院長	出席 (WEB)
堀江 玲子	JR 広島病院 看護部長	出席 (WEB)
植木 直富	JR 広島病院 事務部長	出席 (WEB)
河村 寛	中電病院 病院長	出席 (WEB)
相原 忍	中電病院 看護科部長	出席 (WEB)
高原 健一	中電病院 事務局長	出席 (WEB)
浅原 利正	広島県 参与	出席 (WEB)
平川 勝洋	広島県 病院事業管理者	出席 (WEB)
◎ 木下 栄作	広島県健康福祉局 局長	出席 (WEB)
福永 裕文	広島県健康福祉局 総括官 (医療機能強化)	出席 (WEB)
米田 一裕	広島県健康福祉局 総括官 (医療介護)	出席 (WEB)

(順不同・敬称略)

オブザーバー

氏 名	所 属	出 欠
熊谷 聡一郎	広島県病院事業局 事務部長	出席 (WEB)
山口 浩央	広島県健康福祉局 健康福祉総務課 課長	出席 (WEB)